

4県漁民ら約80人が九州農政局に要請行動！！

よみがえれ！有明海・国会通信

水揚げの激減、組合員の半減……。
今こそ救済措置の発動を！

【毎日新聞地方版 2012年4月27日】諫早湾干拓事業有明訴訟原告団、九州農政局に漁業被害救済など要望

（国営諫早湾干拓事業（長崎県）で早期開門を訴える「よみがえれ！有明訴訟」の原告団と弁護団が26日、熊本市西区のホテルで九州農政局の吉村馨局長に漁業被害の救済と開門スケジュールの明示などを求める要請書を提出した。意見交換会では漁業者が水揚げ低迷の窮状を訴え、救済措置を巡り紛糾した。



要請書では、潮受け堤防を閉め切った97年以降の漁業被害調査と補償▽開門調査に伴う農業用水の代替水源は農水省案の深井戸に固執せず、ため池で対応すること▽漁業実態を踏まえ来年5月までに開門する工程の発表、の3点を求めた。

原告・弁護団約80人はアサリ漁などの水揚げが激減し、漁協組合員も半数程度に減った現状を訴えた。吉村局長が「水産庁で実態調査をしている」と答えると「よその官庁にげたを預けるな」と怒号が上がった。開門までの工程も示されなかったため、弁護団は「開門義務の来年12月に間に合わせる気があるのか」と疑問を呈した。

【長崎新聞 2012年4月27日】

国営諫早湾干拓事業の潮受け堤防開門調査問題で、開門訴訟の原告と弁護団は26日、熊本市内のホテルで、九州農政局の吉村馨局長と意見交換。原告側が具体的な開門時期とそれに向けた工程などを明らかにするよう強く求めたが、吉村局長は「申し上げられない」と明言しなかった。開門をめぐるのは昨年12月、「5年間の常時開門」を命じた福岡高裁判決が確定。国は来年12月までの開門義務を負っている。

よみがえれ！
有明訴訟弁護団
（後藤富和）発行
092-512-1636
090-9602-0700

意見交換で原告側は開門時期の明示を迫り、開門時期についてはノリ漁の実態を踏まえ来年5月を要求。今季の深刻な漁業被害を受け、有明海特措法に基づく救済措置を具体化することや、開門した場合の農業用水確保策として深井戸案に固執せず、ため池で対応することを要請した。吉村局長は「開門義務を負っているのは骨の髄まで分かっている」と述べたが、個々の要請には具体的に回答せず、原告側から「本当に開門するつもりがあるのか」と怒号が飛んだ。

意見交換会には有明海沿岸の漁業者約70人が出席。瑞穂漁協の石田徳春組合長は調整池からの排水で漁業被害が深刻になっていると指摘し「一日も早く開門を」と訴えた



十字架を背負ったのは誰か？

【長崎新聞(諫早支局) 2012年4月28日】記者の目・十字架背負ったのは誰か

「十字架を背負う」とは、一般的に耐えがたい苦難をいつまでも身に持ち続けることを指すが、この言葉を使っているいけない人が使うと、とんでもないことになる。26日、熊本でそんな場面に出くわした。

国営諫早湾干拓事業の開門調査をめぐる開かれた開門訴訟原告、弁護団と九州農政局の意見交換。ある週刊誌に載った農政局職員のコメントがやり玉に挙がり「職員を出せ」「出せない」と紛糾する一幕があった。

コメントは来年12月までに国が開門義務を負うことに「大十字架を背負っているが開けるか開けないかはその時の政治判断」と述べていた。馬奈木昭雄弁護団長は「大十字架」をとらえ「なぜ国が被害者ぶっている。ふざけるんじゃない」と声を荒らげ、「政治判断」も大臣発言と違っていると追及。農政局側は最終的に「コメントは誤り」としたが、事業を推進してきた農政局にとって、開門はやはり「自己否定」につながることで、後ろ向きになっている本音がコメントから垣間見えた気がした。

馬奈木団長は「キリストが背負った十字架は、民衆の苦しみを背負ったんだ」とも。諫早問題で十字架を背負ったの言うまでもなく、国ではなく漁業者や農業者たちだ。